



## 「FRIコンサルティング最前線Vol.2」 の発刊に寄せて

株式会社富士通総研 代表取締役社長

### 長谷川 展久

皆様に、私たち富士通総研のコンサルティング最新事例集として、「FRIコンサルティング最前線Vol.2」をお届けいたします。

本事例集は、お客様が抱える経営課題の解決への一助になればと願い、日々のコンサルティング活動の実践の中から事例を抽出し、その実践内容や適用効果などについて具体的にご紹介することを目的としたものです。

昨年、創刊号を刊行しましたところ、多くのお客様からご好評をいただいたことから、本年も刊行させていただくことにいたしました。本事例の編集にあたり、趣旨をご理解のうえ事例掲載をご快諾いただいたお客様各位には、あらためて御礼を申し上げます。

私たちは、2007年4月、富士通グループのコンサルティング機能を集約し、「新生FRI」として再スタートを切りました。それから2年半が経過いたしました。この間、私たちを取り巻くビジネス環境は、劇的に変化してまいりました。少子高齢化が加速する一方、地球環境問題は深刻の度合いを深め、これらへの対処は猶予の余地がありません。また、昨年来巻き起こった、金融危機を端緒とする世界同時不況は、一時の最悪期は脱したとはいえ、いまだ先行きは不透明と言わざるを得ません。こうした中だからこそ、企業経営の面においても行政分野においても、目指すべき方向性を明らかにし、組織の新たな成長や安全・安心に満ちた社会づくりに立ち向かう革新的な取り組みが求められていると言えましょう。私たちはコンサルティングサービスのご提供を通じて、こうしたご要請に少しでもお応えできればと考えているところです。

当然のことながら、お客様ごとに置かれている状況は異なり、私たちに対するご要望も多様です。しかし、すでに何らかの成果を挙げている事例を参照することの価値を減ずることにはならない、と私たちは考えています。企業を越え、業種を越えて、先行事例を見つめなおすことにより、進むべき道筋を明らかにする上での大きな気づきが得られると確信しております。

私たちは、ビジネス環境がどのように変わろうとも、常に変わることなく「信頼される喜び、創造へのたゆまぬ挑戦を原点として、お客様の成長と社会の発展に寄与する」ことを目指してまいりました。本事例集の中に、その成果を見出していただくことが出来れば、これにまさる喜びはありません。